

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-175416

(P2002-175416A)

(43)公開日 平成14年6月21日 (2002.6.21)

(51)Int.Cl.⁷
G 0 6 F 17/60

識別記号
2 3 4
Z E C
2 1 4
2 2 0
2 2 8

F I
G 0 6 F 17/60

テ-マコ-ト⁸ (参考)

2 3 4 E
Z E C
2 1 4
2 2 0
2 2 8

審査請求 未請求 請求項の数 8 O.L. (全 12 頁) 最終頁に統く

(21)出願番号 特願2000-372612(P2000-372612)

(71)出願人 500352432

アメリカンライフインシュアランスカンパニ-
東京都千代田区丸の内1丁目1番3号A I
Cビル

(72)発明者 永田 学

東京都千代田区丸の内1丁目1番3号A I
Cビル アメリカンライフインシュアラン
スカンパニ-内

(74)代理人 100061273

弁理士 佐々木 宗治 (外3名)

(22)出願日 平成12年12月7日 (2000.12.7)

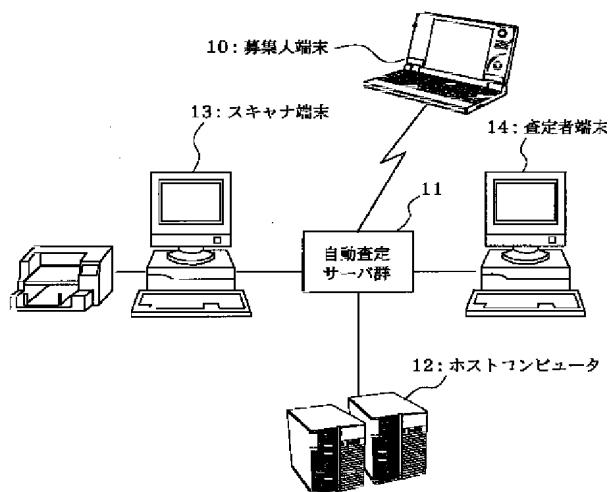
最終頁に統く

(54)【発明の名称】 自動査定方法及び自動査定システム

(57)【要約】

【課題】 査定処理を自動化し、証券発行時間を短縮させる事ができる自動査定方法及び自動査定システムを提供する。

【解決手段】 予め自動査定に関する複数の条件を設定し、募集人端末から送信された保険の申し込み内容のデータを、自動査定に関する複数の条件によりチェックして、申し込み内容の自動査定処理を行い、自動査定処理の結果、自動査定可能な申し込み内容のデータは、そのまま保険の証券発行処理へ移行させ、また、募集人端末上に、予め新契約上の条件及び募集人の情報を設定し、募集人端末上の保険の申込書の内容入力時に、新契約上の条件及び募集人の情報に基づいて、入力内容のチェックを行い、入力内容のチェックの結果、問題の無い申し込み内容のとき、その申し込み内容のデータを送信する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 募集人の募集人端末上で設計された保険の申し込み内容の自動査定を行う自動査定方法において、

予め自動査定に関する複数の条件を設定し、前記募集人端末から送信された保険の申し込み内容のデータを、前記自動査定に関する複数の条件によりチェックして、申し込み内容の自動査定処理を行い、前記自動査定処理の結果、自動査定可能な申し込み内容のデータは、そのまま保険の証券発行処理へ移行させることを特徴とする自動査定方法。

【請求項2】 前記募集人端末上に、予め新契約上の条件及び前記募集人の情報を設定し、前記募集人端末での保険の申込書の内容入力時に、前記新契約上の条件及び前記募集人の情報に基づいて、入力内容のチェックを行い、前記入力内容のチェックの結果、問題の無い申し込み内容のとき、その申し込み内容のデータを送信することを特徴とする請求項1記載の自動査定方法。

【請求項3】 前記自動査定処理を行う際、前記募集人から送付された保険の申込書及び保険契約に必要な書類の自署及び捺印のチェック、及び申込書の内容と前記募集人端末から送信された保険の申し込み内容のデータの内容を比較した後、自動査定処理を実行することを特徴とする請求項1又は請求項2記載の自動査定方法。

【請求項4】 前記申込書の内容と前記募集人端末から送信された保険の申し込み内容のデータの内容を比較は、前記申込書に印刷されたバーコードと、前記募集人端末から送信された保険の申し込み内容のデータ内のコードとの比較で行われることを特徴とする請求項3記載の自動査定方法。

【請求項5】 募集人の募集人端末上で設計された保険の申し込み内容の自動査定を行う自動査定システムにおいて、

予め自動査定に関する複数の条件を設定する手段と、前記募集人端末から送信された保険の申し込み内容のデータを受信する手段と、前記募集人端末から送信された保険の申し込み内容のデータを、前記自動査定に関する複数の条件によりチェックして、申し込み内容の自動査定処理を行い、前記自動査定処理の結果、自動査定可能な申し込み内容のデータは、そのまま保険の証券発行処理へ移行させる手段とを備えたことを特徴とする自動査定システム。

【請求項6】 前記募集人端末は、予め新契約上の条件及び前記募集人の情報を設定する手段と、

前記募集人端末での保険の申込書の内容入力時に、前記新契約上の条件及び前記募集人の情報に基づいて、入力内容のチェックを行い、前記入力内容のチェックの結果、問題の無い申し込み内容のとき、その申し込み内容のデータを送信する手段とを備えたことを特徴とする請求項5記載の自動査定システム。

【請求項7】 前記自動査定処理を行う際、前記募集人から送付された保険の申込書及び保険契約に必要な書類の自署及び捺印のチェック、及び申込書の内容と前記募集人端末から送信された保険の申し込み内容のデータの内容が比較された後、自動査定処理が実行されることを特徴とする請求項5又は請求項6記載の自動査定システム。

【請求項8】 前記募集人から送付された保険の申込書及び保険契約に必要な書類を取り込むスキャナ端末を備え、

前記申込書の内容と前記募集人端末から送信された保険の申し込み内容のデータの内容を比較は、前記スキャナ端末により取り込まれた申込書の画像から前記申込書に印刷されたバーコードを読み取り、そのバーコードの情報と、前記募集人端末から送信された保険の申し込み内容のデータ内のコードとの比較で行われることを特徴とする請求項7記載の自動査定システム。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 本発明は例えば保険会社などにおいて、保険の申し込み時の査定を自動的に行う自動査定方法及び自動査定システムに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、保険の申し込み時の査定は、保険の募集人が、顧客の申し込み内容を記載した申込書を本社などの査定を行う場所に送付し、その申込書に基づいて査定担当者が査定を行っていた。また、保険の募集人が、顧客に対して保険を提案する際は、新契約上のルールブックなどのマニュアルに基づいて、顧客が契約可能な保険の種類や保険金額を決定し、その範囲内での提案を行っていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、従来の保険の申し込み時の査定では、査定を査定担当者が申込書に基づいて行っているので、査定に時間がかかり、証券の発行までの時間が長くなってしまうという問題点があった。

【0004】 また、保険の募集に関しても、新契約上のルールブックなどのマニュアルに基づいて行っているため、マニュアルに変更があった場合差し替えなどを行わなければならず、頻繁に変更があった場合は、その差し替え作業が多くなり、その内容を全て把握することが困難になるという問題点があった。その結果、申込書に記載された保険内容が、契約可能なものでないものになってしまう場合もあり、査定時に不可となり、再度保険内容を修正するなどしなければならず、証券の発行までに時間がさらに長くなってしまう可能性があった。

【0005】 本発明は、このような問題点を解決するためになされたものであり、顧客の申し込み段階での保険内容をチェックを行い、申し込み内容を電子化すること

により、査定処理を自動化する事ができる自動査定方法及び自動査定システムを提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明に係る自動査定方法は、募集人の募集人端末上で設計された保険の申し込み内容の自動査定を行う自動査定方法において、予め自動査定に関する複数の条件を設定し、募集人端末から送信された保険の申し込み内容のデータを、自動査定に関する複数の条件によりチェックして、申し込み内容の自動査定処理を行い、自動査定処理の結果、自動査定可能な申し込み内容のデータは、そのまま保険の証券発行処理へ移行させるものである。

【0007】また、本発明に係る自動査定方法は、募集人端末上に、予め新契約上の条件及び募集人の情報を設定し、募集人端末上での保険の申込書の内容入力時に、新契約上の条件及び募集人の情報に基づいて、入力内容のチェックを行い、入力内容のチェックの結果、問題の無い申し込み内容のとき、その申し込み内容のデータを送信するものである。

【0008】また、本発明に係る自動査定方法は、自動査定処理を行う際、募集人から送付された保険の申込書及び保険契約に必要な書類の自署及び捺印のチェック、及び申込書の内容と募集人端末から送信された保険の申し込み内容のデータの内容を比較した後、自動査定処理を実行するものである。

【0009】また、本発明に係る自動査定方法は、申込書の内容と募集人端末から送信された保険の申し込み内容のデータの内容を比較は、申込書に印刷されたバーコードと、募集人端末から送信された保険の申し込み内容のデータ内のコードとの比較で行われるものである。

【0010】また、本発明に係る自動査定システムは、募集人の募集人端末上で設計された保険の申し込み内容の自動査定を行う自動査定システムにおいて、予め自動査定に関する複数の条件を設定する手段と、募集人端末から送信された保険の申し込み内容のデータを受信する手段と、募集人端末から送信された保険の申し込み内容のデータを、自動査定に関する複数の条件によりチェックして、申し込み内容の自動査定処理を行い、自動査定処理の結果、自動査定可能な申し込み内容のデータは、そのまま保険の証券発行処理へ移行させる手段とを備えたものである。

【0011】また、本発明に係る自動査定システムは、募集人端末は、予め新契約上の条件及び募集人の情報を設定する手段と、募集人端末上での保険の申込書の内容入力時に、新契約上の条件及び募集人の情報に基づいて、入力内容のチェックを行い、入力内容のチェックの結果、問題の無い申し込み内容のとき、その申し込み内容のデータを送信する手段とを備えたものである。

【0012】また、本発明に係る自動査定システムは、自動査定処理を行う際、募集人から送付された保険の申

込書及び保険契約に必要な書類の自署及び捺印のチェック、及び申込書の内容と募集人端末から送信された保険の申し込み内容のデータの内容が比較された後、自動査定処理が実行されるものである。

【0013】また、本発明に係る自動査定システムは、募集人から送付された保険の申込書及び保険契約に必要な書類を取り込むスキャナ端末を備え、申込書の内容と募集人端末から送信された保険の申し込み内容のデータの内容を比較は、スキャナ端末により取り込まれた申込書の画像から申込書に印刷されたバーコードを読み取り、そのバーコードの情報と、募集人端末から送信された保険の申し込み内容のデータ内のコードとの比較で行われるものである。

【0014】

【発明の実施の形態】図1は本発明の一実施の形態に係る自動査定システムの構成を示す図である。図において、10は保険の募集人が使用する例えばパソコンなどの募集人端末であり、この募集人端末10により保険の設計、提案その他の処理を行うようになっている。11は保険会社において、保険の申し込み内容の自動査定を行うための各種サーバなどからなる自動査定処理サーバ群であり、例えば、本社などに設置されている。12は保険の契約内容などのデータベースが格納され、たホストコンピュータ、13は入力担当者が、保険の申込書をスキャナで取り込むスキャン処理を行うスキャナ端末、14は自動査定で処理できない申し込みを査定者が査定するための査定者端末である。

【0015】また、募集人端末10と自動査定サーバ群11との接続は、外出先や各代理店などでは、モ뎀などの接続機器を使用し公衆回線網を介して接続することができ、保険会社の本社や、本社と専用線などで接続されている営業店などで自動査定サーバ群11内のLANなどに直接接続できる環境であれば、そのLANを介して接続できる。

【0016】この実施の形態では、募集人端末10による募集時においては、その募集人端末10により保険の商品に関する申し込み内容の自動チェックが行われ、保険加入者の情報や保険の申し込み内容によって、申し込み出来ない場合、他に必要な書類が必要な場合などや、申し込み時の記入漏れなどがあった場合などにエラーを出して、募集人端末10だけで、申込書として間違いの無いものが作成できるようになっている。

【0017】そして、募集人端末10で作成された申込書は、プリンタなどから印刷され、正式な申込書として、契約者の自署、捺印された後、申し込み内容の査定を行う場所（例えば、自動査定サーバ群11が設置された本社など）に送付される。

【0018】また、その申し込み内容のデータは公衆回線網やLANなどを介して、自動査定処理サーバ群11にも送信され、自動査定処理サーバ群11内において、

送付された申込書と送信された申し込み内容のデータが、例えば、申込書に印刷されているバーコードと申し込み内容のデータ内のコードとの照合などにより照合され、申し込み内容のデータにより申し込み内容の自動査定処理が行われ、査定者による査定の必要のないものについては、そのまま証券発行処理に移行し、証券が発行され、即契約者へ証券が発送され、これにより、証券発行までの時間が短縮されるようになっている。

【0019】また、募集人端末10内のデータとしては、従来の新契約上のルールブックの内容が格納され、また、その内容に変更があった場合には、配布されたFDなどの記録媒体を用いて内容の更新をするか、自動査定サーバ群11に接続した際に定期的に更新することができる。また、このほか、募集人端末10内のデータとしては、募集人の情報も格納されており、募集人の資格などの情報により、募集人が募集できる保険金額や保険の種類などが制限され、申込書作成時の自動チェックに使用されており、このデータも募集人の情報に変更があったときにFDなどの記録媒体や自動査定サーバ群11への接続により更新できる。

【0020】次に、この実施の形態の動作について説明する。まず、募集人端末10での第一次選択としての自動チェック動作について説明する。図2及び図3は募集人端末10でのチェック動作を示すフローチャート、図4～図11は募集人端末10上の画面表示の一例を示す図である。募集人が保険の募集を行う際の顧客に対する設計書の作成時は、まず、顧客の情報を入力し、保険の商品の種類やその内容などを入力する。この入力は、例えば、主契約として5種類まで入力できるようになっている。

【0021】そして、入力された、顧客の情報と保険の商品の情報から、契約年齢や契約単位などの商品毎の基本チェックを行う(S100)。S100で何らかのエラーが検出されると、例えば、保険金額を7億円と入力した場合では、図4に示すようなエラー事由をエラー表示し、募集者に対して設計の変更を促し(S105)、S100に戻る。

【0022】また、S100でエラーが検出されなければ、新規募集分の保障別通算額を計算し(S101)、告知書扱い、面接士扱い、医師扱いなどの申し込み時の診査基準を判断し(S102)、保障別通算額のチェックを行う(S103)。S103での保障別通算額のチェックでは、職業別、年齢別、募集人別のチェックも合わせてチェックされる。

【0023】S103で何らかのエラーが検出されると、例えば、終身医療(730日型)で設計されていて、職業コードが電気作業者で、職種詳細が内線工(高圧)で入力した場合では、図5に示すようなエラー事由をエラー表示し、募集者に対して設計の変更を促し(S105)、S100に戻る。また、S103でエラーが

検出されなければ、例えば、図6に示すような取扱可能な診査区分と注意事項などの画面を表示し、保険の商品の設計を終了する。

【0024】なお、S101での新規募集分の保障別通算額を計算した後、公衆回線網やLANなどを介して、自動査定サーバ群11に接続し、ホストコンピュータ12に格納されている顧客の既契約通算額を取得するか、又は予め顧客の情報を入手し、その情報に基づいて、公衆回線網やLANなどを介して、自動査定サーバ群11に接続し、ホストコンピュータ12に格納されている顧客の既契約通算額を取得し、既契約の通算額を含めた通算額によりチェックを行うようにしてもよい。この場合、図6に示すインフォメーションの箇所に既契約通算された情報が表示される。

【0025】そして、保険の商品の設計を終了すると、その設計内容を募集者端末10の画面に表示させるか設計書として印刷するなどして、顧客に保険内容を説明し、顧客に対して、設計した保険の商品への申し込みをすすめる。

【0026】そして、顧客が、申し込みを行う段階になると、募集者端末10に申し込みに必要な情報を入力する。そして、入力された情報から、まず、申し込み内容の入力漏れのチェックを行う(S110)。S110で何らかのエラーが検出されると、例えば、図7に示すようなエラー事由をエラー表示し、募集者に対して入力漏れ箇所の修正を促し(S117)、S110に戻る。

【0027】なお、図7において、エラーIDがRで始まるIDは赤で表示され、エラーIDがWで始まるIDは青で表示されている。そして、赤で表示されているエラーは、このエラーを解除しない限り申込書の作成ができないエラーで、青で表示されているエラーは確認してもらう点や追加の記入の必要なものや、追加の資料が必要なものなどのエラーとなっている。

【0028】そして、S110でエラーが検出されなければ、契約形態のチェックを行い(S111)、被保険者職業によるチェックを行う(S112)。なお、S111では、死亡保険金受取人を配偶者がいるにもかかわらず、親を指定した場合などのチェックを行い、S112では被保険者職業が、例えば建設作業者だった場合などのチェックを行っている。

【0029】そして、S111、S112でエラーが検出されるか、又は、追加情報の入力が必要と判断されると、例えば、S111での場合で、死亡保険金受取人を配偶者がいるにもかかわらず、親を指定した場合では、図8に示すようなエラー事由をエラー表示し、募集者に対して追記の指示をし(S116, S117)、S110に戻る。

【0030】そして、S111、S112でエラーが検出されなければ、顧客の年収などからの付保金額の妥当性のチェックを行い(S113)、S113で、例え

ば、入力された顧客の年収上で申し込み内容に問題が合った場合などでエラーを検出した場合は、例えば、図9に示すようなエラー事由をエラー表示し、募集者に対して申し込み内容の変更又は、年収の入力チェックを促し、S110に戻る。

【0031】そして、S113でエラーが検出されなければ、例えば、身長・体重などの体格のチェックを行う(S114)。S114で、例えば、たばこを吸わない人向けの定期保険などで、身長・体重などの体格が規定値を超えていた場合などでエラーを検出した場合は、例えば図10に示すようなエラー事由をエラー表示し、募集者に対して現在の体格では現在の申し込み内容の申込書は作成できないので、申し込み内容の変更を促し、S110に戻る。

【0032】そして、S110～S114の全てにチェックにエラーがなくなると、例えば、図11に示すような表示を行い、エラーが無い旨を募集者に知らせる。そして、エラーが無い申込書が作成できれば、その申込書や、その他必要な書類などの帳票を印刷などして出力すると共に、申し込み書の内容を公衆回線やLANなどを介して、自動査定サーバ群11へ送信する(S115)。

【0033】また、印刷された申込書やその他必要な書類は顧客に渡し、内容の確認や、自署、捺印などをもらった後、その書類は自動査定サーバ群11が設置されている場所に送付する。

【0034】そして、募集人端末10から申込書のデータが送信され、募集人から自署・捺印がされた申込書が送付されると、自動査定サーバ群11では、申し込み内容についての第二次選択としての自動査定処理が行われる。ここで、自動査定サーバ群11での自動査定処理について説明する。図12は自動査定サーバ群11側での自動査定処理の動作を示すフローチャート、図13は自動査定処理で自動査定対象にならなかった場合の査定者端末14上の画面表示の一例を示す図である。

【0035】まず、募集人から送付された申込書やその他必要な書類などの帳票は、入力担当者がスキャナ端末13によりスキャンすることにより、イメージデータ化され、正式な申込書の原本としてデータベース化される。また、このとき、入力担当者は、申込書への自署・捺印があるかのチェックや、その他必要な書類が揃っているかをチェックする。

【0036】また、申込書やその他必要な書類などの帳票には、例えば、帳票の種類や更新回数などを特定するためのバーコードなどが印刷されており、このバーコードなどを読み取り、募集人の募集人端末10から自動査定サーバ群11に送信された申し込み内容のデータと、募集人から送付された各帳票の内容が同じ物であるかを確認し、募集人の募集人端末10から自動査定サーバ群11に送信された申し込み内容のデータが申込書の内容

で間違い無い場合は、そのデータによる自動査定サーバ群11での自動査定処理へ移行させる。

【0037】そして、自動査定サーバ群11での自動査定処理としては、予め自動査定対象外の条件が設定されており、その自動査定対象外の条件の情報に基づいて自動査定処理によるチェックが行われる。

【0038】ここで、自動査定処理で使用される、予め設定する自動査定対象外の条件の一例について説明する。例えば、予め設定する自動査定対象外の条件としては、新契約データとして、保険の種類が、例えば、弱体者終身保険や日常生活動作障害保障保険などの場合は自動査定対象外、死亡保険金受取人続柄が配偶者、父母、子供、兄弟姉妹、法定相続人、法人以外の場合は自動査定対象外、被保険者の加入年齢が、61歳以上又は14歳以下の場合は自動査定対象外、など、いろいろな条件が予め設定されている。

【0039】また、通算チェックとして、普通死亡保険金額が、保険の種類が医療保険やガン保険関連以外の場合で、通算普通死亡保険金が4999万円超の場合は自動査定対象外、本人疾病入院日額が15000円超の場合は自動査定対象外など、通算した保険金額や、入院日額によって、いろいろな条件が予め設定されている。

【0040】まず、申し込み内容単独のチェックとして、契約形態チェックや商品毎の基本チェックなどを行い、申し込み内容単独の情報で自動査定が可能か否かをチェックする(S120)。

【0041】そして、同契約／既契約のチェックとして、同契約／既契約の合算保障通算チェックや募集人・職業・年齢・診査区分別のチェックなどを行い、同契約／既契約の情報で自動査定が可能か否かをチェックする(S121)。そして、その他のチェックとして、帳票・健康状態のチェックや入金・個人情報のチェックなどを行い、その他の情報自動査定が可能か否かをチェックする(S122)。

【0042】そして、S120、S121、S122を含めた最終的な、自動査定可能か否かのチェックを行い(S123)、S123で全て自動査定可能だった場合は、そのまま、申し込み内容のデータにより証券出力処理へ移行させ、証券を出力させる。

【0043】また、S123で何らかの自動査定不可能なものがチェックされた場合は、自動査定が出来ないので、査定者によるマニュアル査定になるため、査定者端末14上に、例えば、図13に示すようなメッセージを表示させ、査定者は、査定者端末14上に表示された情報に基づいて、マニュアル査定を行い、申し込み可能か否かを判断し、査定者の確認の上で申し込み可能であれば、その申し込み内容のデータにより証券出力処理へ移行させ、証券を出力させる。

【0044】また、申し込み不可能であれば、例えば、その申し込みを行った募集人の募集人端末10にその旨

の連絡を送付するなどして、再度申込書の作成やその他の処理を依頼する。

【0045】この自動査定処理により、予め設定された自動査定対象外の条件に当てはまらない申し込みについては、その申し込み内容のデータは、査定者による査定をせずに、自動的に証券出力処理に移行され、証券の発行が行われるので、自動査定可能な申し込みについては、短期間に証券を発行することが可能となる。

【0046】また、募集人の募集人端末10での申込書作成時点で、申し込み内容についてのチェックが行われているため、自動査定処理での自動査定可能な申し込みの割合も高くなり、一般的な保険の商品への申し込みについては、かなりの確率で自動査定処理のみで証券を発行することができ、証券発行作業の効率化を図ることが可能となる。

【0047】なお、この実施の形態では、自動査定処理を自動査定サーバ群11で行っているが、自動査定処理の処理機器の構成としては、上記の自動査定処理が出来るものであれば、どのような構成であってもよく、また、ホストコンピュータ12の付加機能として自動査定処理を行うことができれば、ホストコンピュータ12での処理として、上記の自動査定処理を行うようにしてもよい。

【0048】また、この実施の形態では、自動査定サーバ群11での自動査定処理は、募集人から送付された申込書やその他必要な書類などの帳票を、入力担当者がスキヤナ端末13によりスキャンし、申込書への自署・捺印があるかのチェックや、その他必要な書類が揃っているかをチェックした後に行っているが、募集人端末10から申込書のデータが自動査定サーバ群11に送信された時点で、そのデータにより自動査定処理を行い、自動査定処理可能な申し込みの場合、その後、募集人から申込書やその他必要な書類などの帳票が送付された時に、申込書への自署・捺印があるかのチェックや、その他必要な書類が揃っているかをチェックし、問題なければ、証券発行処理を行うようにしてもよい。

【0049】

【発明の効果】以上のように本発明によれば、予め自動査定に関する複数の条件を設定し、募集人端末から送信された保険の申し込み内容のデータを、自動査定に関する複数の条件によりチェックして、申し込み内容の自動査定処理を行い、自動査定処理の結果、自動査定可能な申し込み内容のデータは、そのまま保険の証券発行処理へ移行させるようにしたので、短期間に証券を発行することができるという効果を有する。

【0050】また、募集人端末上に、予め新契約上の条件及び募集人の情報を設定し、募集人端末での保険の申込書の内容入力時に、新契約上の条件及び募集人の情報に基づいて、入力内容のチェックを行い、入力内容のチェックの結果、問題の無い申し込み内容のとき、その申し込み内容のデータを送信するようにしたので、自動査定処理でそのまま保険の証券発行処理へ移行する申し込みの割合も高くなり、一般的な保険の商品への申し込みについては、かなりの確率で自動査定処理のみで証券を発行することができ、証券発行作業の効率化を図ることができるという効果を有する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施の形態に係る自動査定システムの構成を示す図である。

【図2】募集人端末10でのチェック動作を示すフローチャートである。

【図3】募集人端末10でのチェック動作を示すフローチャートである。

【図4】募集人端末10上の画面表示の一例を示す図である。

【図5】募集人端末10上の画面表示の一例を示す図である。

【図6】募集人端末10上の画面表示の一例を示す図である。

【図7】募集人端末10上の画面表示の一例を示す図である。

【図8】募集人端末10上の画面表示の一例を示す図である。

【図9】募集人端末10上の画面表示の一例を示す図である。

【図10】募集人端末10上の画面表示の一例を示す図である。

【図11】募集人端末10上の画面表示の一例を示す図である。

【図12】自動査定サーバ群11側での自動査定処理の動作を示すフローチャートである。

【図13】査定者端末14上の画面表示の一例を示す図である。

【符号の説明】

10 募集人端末

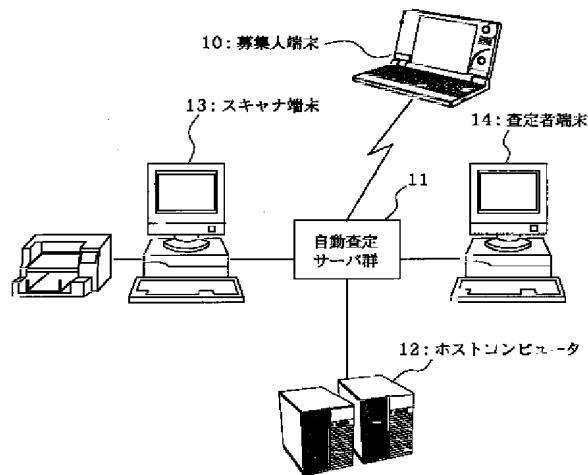
11 自動査定処理サーバ群

12 ホストコンピュータ

13 スキヤナ端末

14 査定者端末

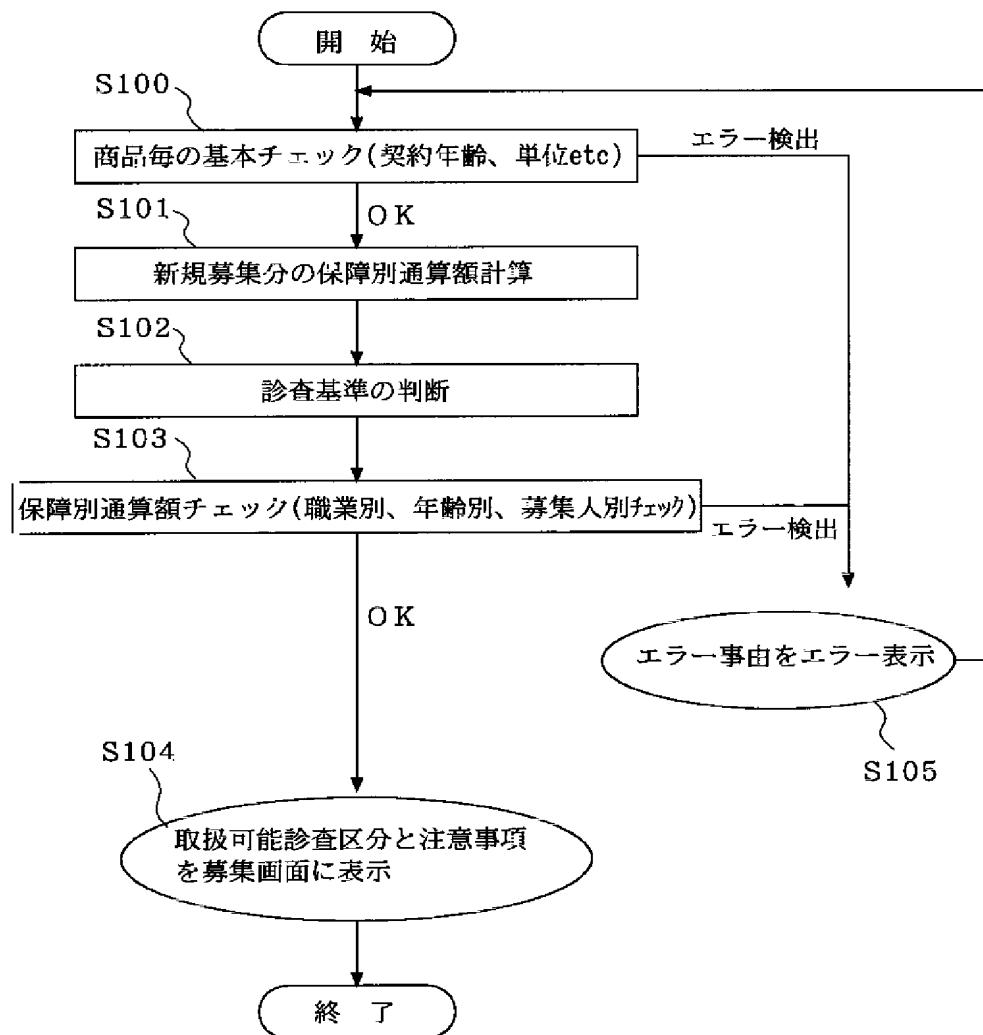
【図1】



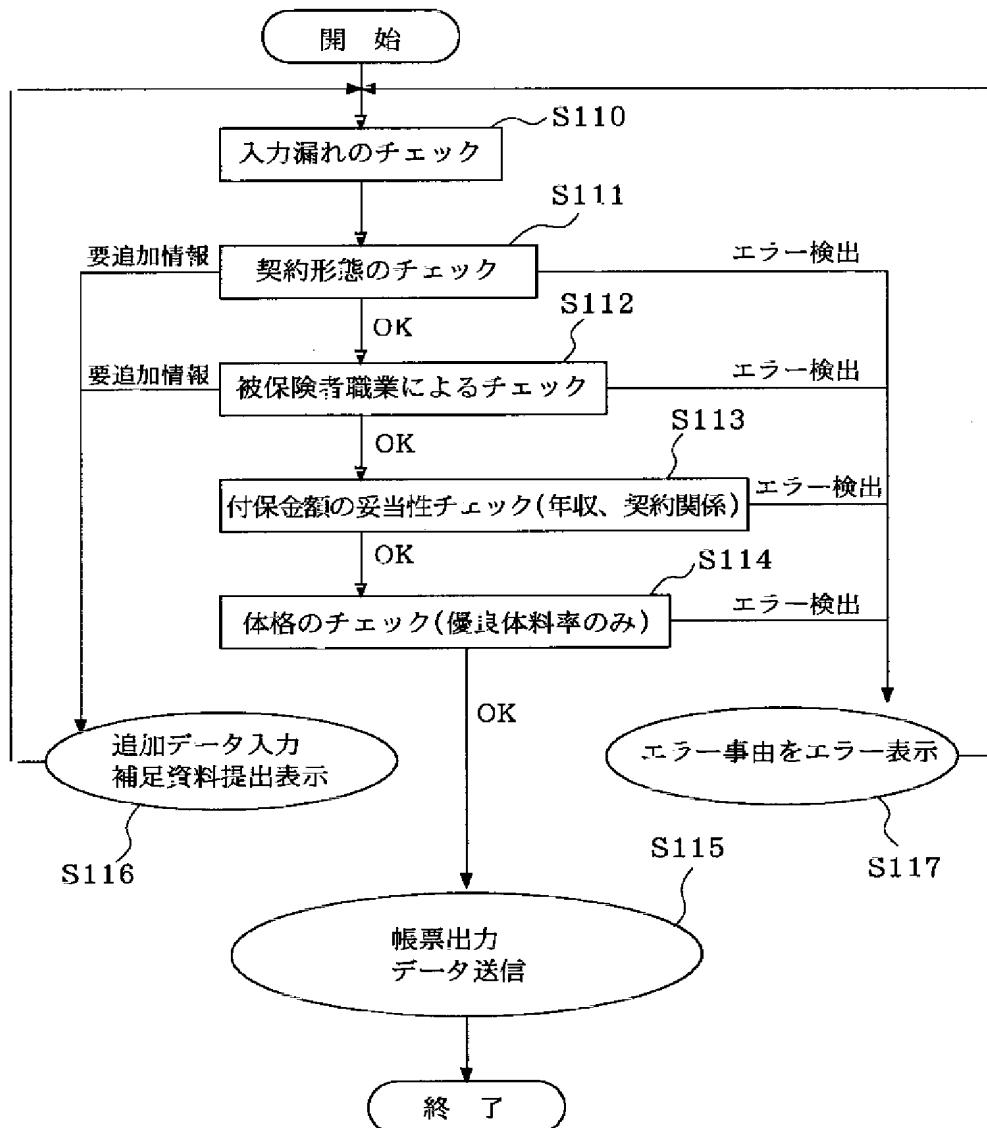
【図6】

診査基準	
担当: 山田 太郎	
取扱可能審査方法	
面接士数	内勤面接士、委託面接士A、委託面接士B
医師数	一般接診が必要です
健診管理証明書級	健診管理面明書が必要です
人間ドック級	
取扱上の注意事項	
・保険料: 通算最高保険金 30,000,000円 新契約分 30,000,000円 ・職業コードは121111です。 ・既契約未受診	
割増保険料 0円	
<input type="button" value="アリヤの設定"/> <input type="button" value="印刷"/> <input type="button" value="前画面"/>	

【図2】



【図3】



【図7】

コード	ID	説明
1	WMU0005	契約者現住所を選択してください。
2	WMU0006	契約者の姓氏名を入力してください。
3	WMU0008	契約者の性別を選択してください。
4	WMU0015	契約者の職業を選択してください。
5	WMU0018	被保険者の現住所を選択してください。
6	WMU0020	被保険者の性別を選択してください。
7	WMU0021	被保険者の職業を選択してください。
8	WMU0025	受取人の性別を選択してください。
9	WMU0026	受取人の職業を選択してください。
10	WMU0049	被保険者扶特約を選択してください。
11	WMU0055	被保険者の回数を選択してください。
12	WMU0100	診査区分を選択してください。
13	WMU0102	リピングニース特約は付加されていません。よろしいですか？
14	WMU0103	本籍を選択もしくは入力してください。
15	WMU0132	被保険者利益(死亡保険金受取人続柄)について報告書に補足記録してください(お引き受けできること)。
16	WMU0167	契約若者(生年月日)を入力してください(記入が必須です)。

※修正が必要です。青のみであれば12は無になります。
黒は本籍選択するまでに、チェックを外して入力してください。

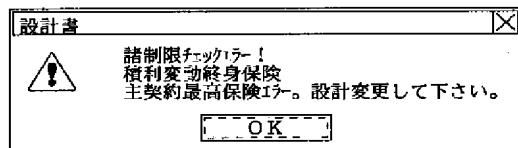
選択(1) キャンセル(2)

【図4】

設計内容(個人)

アカウント: インターフェース カバー
担当: 山田 太郎

被保険者	姓	名	性別	生年月日	契約年齢
	有子	太郎	男	昭和40年07月17日	35歳
契約者名(k)	続柄			設計基準日(D)	
				平成12年10月01日	
保険種類	保険金	単位	保険期間	払込期間	確定保証期間
積利変動終身保険	70,000	万円	終身	55歳	月払
<input type="button" value="OK"/> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 諸制限チェック! 積利変動終身保険 主契約最高保険額70万円。設計変更して下さい。 </div>					
区分(R) [個別]	職業コード(Q)	保険料計算(P)	合計保険料		
	診査基準(S)		円		
申込書(4)	設計変更(5)	よくばり保険変更(6)	印刷(7)	終了(8)	操作コード(9)



【図5】

職業コード選択	設計書
職業コード: 731442	諸制限チェック! 終身医療(730日型) 職業上災害入院通算日額オーバー。設計変更して下さい。
職種: 電気作業者	<input type="button" value="OK"/>
職種詳細: 内線工(高圧)	
<input type="button" value="了解"/> <input type="button" value="取消"/> <input type="button" value="詳細表示"/>	

【図9】

エラーメッセージ		メッセージ
コード	ID	内容
1	RREP840	年収より引受保険金額限度が超えています(死亡保険金)
2	RREP841	年収より引受保険金額限度が超えています(入院日額)
3	WWPR010	「経済状況に関する質問書」の提出が必要です。

【図8】

エラーメッセージ

エラーID: 1
メッセージ: 父母生存保険金支取入力に関する理由を報告書に補足追加して下さい。お手数をおかけいたします。

赤は修正が必要です。青のみであれば1行は無になります。
黒は本件追加するまで、チェックを外して入力してください。

選択(1) キャンセル(2)

【図10】

エラーメッセージ

エラーID: 1
メッセージ: 体積の内容からアラートが発せられました。

【図11】

申込書入力

受付番号3X00148463
処理状態3 入力有り (マーク無し)

顧客情報[受取人情報] [約款情報] [設計内容]

保険種類	保険期間	払込期間	死亡連増	口数、金額	単位
終身保険平準式	終身	60歳		10,000,000	円
災害死亡給付	60歳	60歳		20,000,000	円
傷害特約	60歳	60歳		10,000,000	円

申込書

i マークはありません

OK

職業コード: 041111
診査区分: 1: 医師扱
診査区分情報

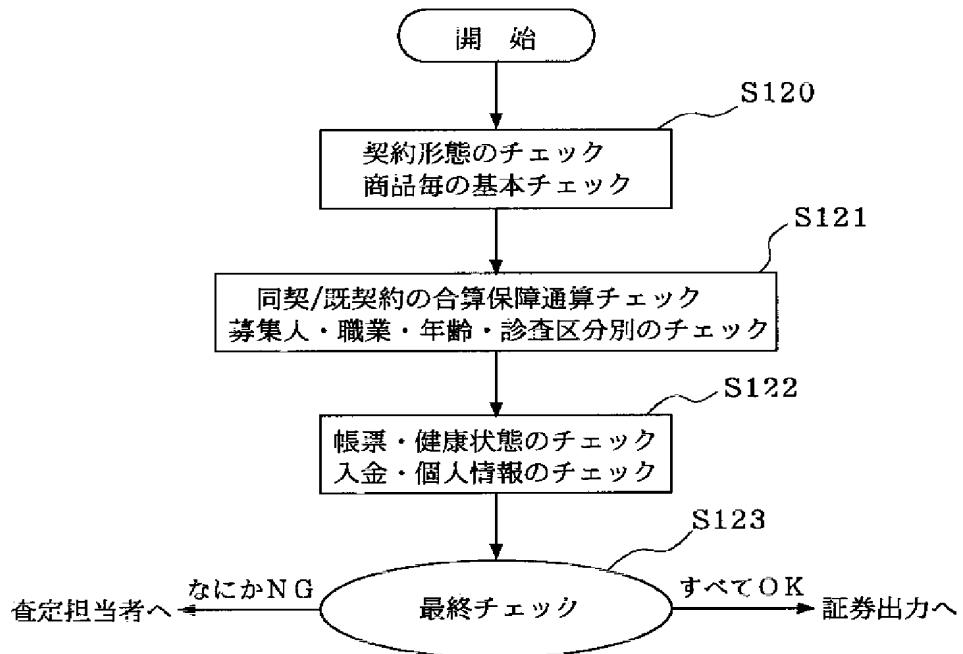
S P 建 S 保険金建
特別条件
保険金削減年数 年
標準下体割増等級 級
職業割増
払込方法: 01 月払
割増保険料 円

合計保険料 36,550 円
後期合計保険料 0
前納回数 0 回分
前納保険料合計 0

他証番複写(1) 設計変更(2) チェック&保管(3) 前画面(4)

99/06/01 16:07 チェック完了 CAPS NUM INS

【図12】



【図13】

ホスト送信結果		
証券番号	3X00455064	
契約確認 なし		
募集月 200009 (YYYYMM)		
ホスト送信結果(2000/09/12 13:54:50)		
LINC []		
OV指定 OV取消		
エラー番号	OV	エラーメッセージ
IB51	0	TOTAL CWA - ¥6,035
<input type="button" value="◀"/> <input type="button" value="▶"/>		

通算結果(2000/09/12 13:55:34)		
OV指定 OV取消		
エラー番号	OV	エラーメッセージ
I051	0	口座名義人と契約者が同一ではありません
<input type="button" value="◀"/> <input type="button" value="▶"/>		

自動査定(2000/09/12 13:55:34)		
OV指定 OV取消		
エラー番号	OV	エラーメッセージ
WB01	0	保険種類が自動査定対象外
WB64	0	口座名義人が相違しているため自動査定対象外
<input type="button" value="◀"/> <input type="button" value="▶"/>		

フロントページの続き

(51) Int.CI.7	識別記号	F I	(参考)
G O 6 F 17/60	3 0 2	G O 6 F 17/60	3 0 2 E
	3 3 0		3 3 0
	3 4 0		3 4 0

(72) 発明者 雨海 隆子
 東京都千代田区丸の内1丁目1番3号A I
 Gビル アメリカンライフインシュアラン
 スカンパニー内